

HOME > レース用ドローン >

【アマチュア無線4級】無線従事者免許の申請手続き

✎ 2016/09/18

目次 [\[表示\]](#)

□□ アマチュア無線 免許4級の受験 後にやること

☑ アマ免許4級の合 否確認

アマチュア無線免許4級の合否については、試験の解答発表がないため自己採点をするか、受験後10日前後で自宅宛に届く「無線従事者 国家試験結果 通知書」を待つこととなります。

☑ 合格の場合 免許 の申請が必要

自宅宛に届くのは、“通知書”です。**免許ではありません。**

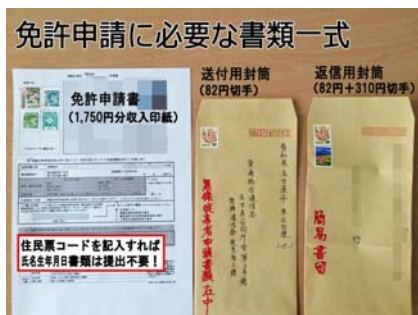
合格だった場合には、さらに
免許の申請が必要となります。
す。

(免許を送ってくれればいい
のに、面倒臭いですね)

アマチュア無線免許は国家試験であるため、管轄・手続きが複雑なのでしょう。

- 受験申請先 ⇒ 日本無線協会
- 免許申請先 ⇒ 総務省

✔ 免許申請に必要なもの



免許申請書（総務省HPよりダウンロード）

[総務省HPよりPDFファイルをダウンロード](#)して記入します。[申請にあたっての注意事項（記入例）](#)も用意してあるので、見本通りに入力していけば大丈夫です。

氏名および生年月日を証 する書類

免許証や健康保険証のコピーではダメで「住民票の写し」・「戸籍抄本」・「印鑑登録証明書」等が必要となります。但し、以下のいずれかの番号を記入できれば書類は不要となります。

- 住民票コード
- 無線従事者免許証の番号
- 電気通信主任技術者資格者証の番号
- 工事担任者資格者証の番号

一番楽なのは、住民票コードを記入する方法かと思います。但しここで注意したいのは、「**住民票コード**」は「**マイナンバー**」とは別物ということ。

市役所に行って、住民票を発行してもらう際に「**住民票コードを記載してください**」と伝えると住民票コード付きの住民票を発行してもらえます。

顔写真（受験申請で用意したものと同じでOK）

免許証に添付する「縦30mm×横24mm」の顔写真が必要となります。これは試験申請時に用意した写真と同じサイズです。試験会場での身分確認の際に、写真について何も注意を受けていなければ、同じ写真を使用して問題ないでしょう。

封筒2枚

- 送付用封筒（82円切手を貼付）・・・表紙に「無線従事者申請書類在中」と赤字で記入
- 返信用封筒（82円切手+310円切手を貼付）・・・表紙に「簡易書留」と赤字で記入

1枚は送付する際に使用して、もう1枚は返信用として折りたたんで送付用封筒に入れます。返信用封筒には切手を貼りますが、総務省HPを見ると「簡易書留」が推奨されているようです。そのため、切手は簡易書留料金310円分も貼付して、表紙に簡易書留と書いておきます。

もし返信用封筒を送付しなかった場合には、総合通信局に免許を受け取りに行く必要があります。総合通信局は、北海道・東北・関東・東海・

信越・北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄の11カ所ありますが、よほど近くにある場合以外は、返信してもらったほうが楽です。[提出先一覧はこちら](#)。

※万全を期すならば、送付用封筒も簡易書留で送付したほうが良いです。

1,750円の収入印紙

免許発行に際して支払う手数料です。1,750円分の収入印紙を免許申請書にのり付けします。

切手（送付用82円と返信用82円+簡易書留310円）

- 82円切手×2・・・送付用と返信用封筒に貼る用
- 310円切手×1・・・返信用封筒を簡易書留で送付してもらうため

✔ 免許が届くのは1ヶ月後





申請書を送付したら、約1ヶ月
ほどで免許証が送付されてき
ます。これでやっとライセン
ス取得ができました。